

その車間 心のせまさが 見えてます



生命を守る

反射材の着用を！



榛東村交通安全会

会長 蜂 巢 一 彦

明けましておめでとうございます。

村民皆様には健やかで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当会が実施しました交通安全活動に、温かいご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

悲惨な交通事故を防止するためには、道路を利用する一人ひとりが安全意識と思いやりの心を持ち、正しいルールとマナーの徹底に努めていただくことが大切だと思います。

昨年は新たに、敬老会におきまして高齢者の皆様方に『事故無し榛東』という趣旨で梨とタスキ型の反射材等をお配りしました。夜間、事故に遭った歩行者は総じて反射材が未着用だったようです。事故に遭わないためにも反射材を身に着けるようお願い致します。

本年も榛東村から事故が起きないよう、さまざまな啓発活動を展開して参りますのでご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



榛東村交通安全会
女性部長
小林 一十 美

交通ルールを守って 安心な生活を

新年明けましておめでとうございます。
交通安全会を始め関係者の皆様には、日頃より交通安全活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

交通安全会女性部では、小中学校の交通安全教室の他、幼稚園・保育園・子ども園での着ぐるみ劇や指人形劇で、横断歩道の安全な渡り方や道路の正しい歩き方などを一緒に勉強しています。繰り返し学ぶことで交通ルールを身につけて欲しいと思っています。また、高齢者への啓発活動も行いました。交通ルールを守ることは、自分の身を守ることに繋がります。

先日、自動車免許の更新へ行きまし。事故の原因として脇見運転などが多くを占めているとのことでした。自動車のハンドルを握った、周囲をよく見て運転に集中することが大事です。お互い一人ひとりが注意を払い思いやりを持って交通ルールを守ることが、交通事故の無い安心な生活に繋がると思っています。これからも交通事故防止の呼びかけを続けて参ります。



榛東村交通対策協議会
会長（榛東村長）
真塩 卓 氏

安全・安心な村づくり のために

明けましておめでとうございます。村民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、令和新时代となり、大変喜ばしい年であった反面、未就学の子供が犠牲となる交通事故や高齢運転者による交通事故が相次いで発生しています。

村では高齢者の交通事故減少を目的として、65歳以上の方で自主的に運転免許証を返納された方に助成金を交付する事業を平成29年度から実施していますが、昨年の10月から助成金に加え、福祉タクシー券や敬老バスカードを選択できるような拡充しました。この制度を活用して運転免許証の自主返納を御家族で検討する機会を設けていただければと思います。また、運転を続ける方は、自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置などの安全機能が搭載された自動車を活用することなどを御検討いただき、今後も安全に運転を続けていただきたいと思います。

さて、昨年の村内の交通事故発生状況は、交通事故件数は前年よりも若干増加した結果となりましたが、交通死亡事故は平成26年から7年連続で0でした。重大事故が発生していないことは、ひとえに交通安全会を

はじめとする交通安全運動に関わる皆様の努力のたまものであり、改めて感謝申し上げます。

村の発展とともに、高崎渋川線バイパスや上毛大橋（駒寄IC）延伸道路、また、そのアクセス道路の整備などで、村内の交通量の増加が予想されますが、今後も交通安全会、交通指導員、渋川警察署、渋川交通安全協会等と連携し、小中学校、幼稚園、保育園及び子ども園での交通安全教室や新入学児親子交通安全教室、街頭指導・広報パトロールなどの各種事業を継続して実施し、村民皆様が安心・安全に暮らせる村づくりを進めて参ります。



渋川交通安全協会
事務局長
井上 雅雄 氏

交通事故のない 榛東村をめざして

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から渋川交通安全協会の活動等に深くご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年の渋川警察署管内の交通事故発生状況は、発生件数、死者数、

傷者数いずれも前年比で減少する結果となりました。

これも市町村、警察はもとより、各地区交通安全会、団体等の各種交通事故防止活動及び高い交通安全意識を持った地域の皆様の成果であると思っております。

群馬県内の交通事故死者数も統計史上、最も少ない記録とのこと、本年も交通事故死者ゼロをめざして減少していくことを願っております。

ところで、昨年12月1日から「ながら運転」の罰則が大幅に引き上げられる改正道交法が施行されました。しつかり、前を見ているつもりでも咄嗟の危険事態に間に合わず事故が起きている現状を考えると携帯電話で通話しながらスマートフォン画像を見ながら運転することなど危険極まりの無いことだと思っています。

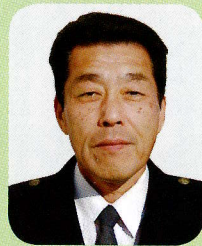
「ちよつとくらい大丈夫」と思っているのか、携帯電話をしながら運転しているドライバーを時折見かけますが、取り返しのつかない結果になることがあることをご理解頂き、運転中の携帯電話等は、安全なところに車両を停止させて使用するようお願い致します。

また、今後、重大事故の原因となる「あおり運転」行為の厳罰化、高齢運転者に関する免許制度、等の道交法改正案が新聞紙上で報じられております。

国は、交通事故のない世界一、安全な日本を目指して交通環境づくり、マナーアップ、法整備等を進めているところですが、夏には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、諸外国からの訪日観光客の増加が見込まれています。

各種競技での金メダル（世界一）の

獲得と日本選手の活躍を期待しておりますが、交通事故防止についても日本は、世界一、そして交通事故のない日本一、安全な榛東村をめざして地域の皆様と交通安全活動を続けて行きたいと思っています。



渋川警察署
交通課長
肥留川 篤 氏

刻々と変化する交通 環境

「あおり運転」「高齢ドライバー」「自主返納」「自動運転」...

これらは、昨年新聞やテレビ等で大きく報道された交通関係のキーワードですが、10年前には誰も予想しなかつた言葉ではないでしょうか。

この中では、昨年、渋川警察署管内で「あおり運転」に関係する大きな交通事故の発生はありませんでした。「高齢ドライバー」については、12月1日に関越道の赤城インターと昭和インター間の下り線上を逆走して対向車と正面衝突する事故が発生し、逆走車を運転していた渋川市内在住の高齢男性が亡くなっています。

また、「自主返納」は、制度開始後最多となり、「自動運転」については、12月には渋川駅から前橋市の群馬大学荒牧キャンパスまで自動運転の路線バスが実証実験を行うなど、完全自動運転の実現に近づいた年でもありました。

前置きが長くなり申し訳ありません。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、渋川警察署管内の交通事故発生状況は、前年に比べ物件事故、人身事故、負傷者数のいずれも減少することができました。

幸い、榛東村内では交通事故の発生はありませんでしたが、渋川警察署管内では2件の死亡事故が発生し、2人の方が犠牲になっていました。

1件目は、1月23日に渋川市伊香保町地内で発生した軽四自動車相互の事故で女性1人が亡くなり、2件目は、12月7日に渋川市石原地内で軽四自動車に歩行者が轢かれて男性1人が亡くなっています。いずれの事故も前年と同様に、「もう少し注意していれば防ぐことができたのでは。」と思われる事故であったことが悔やまれます。

また、県内では夕暮れの早まる秋以降交通事故が急増し、死者の半数を65歳以上の高齢者が占めました。

更に、全国に目を向けると、前述の「あおり運転」が連日のように大きく報道されたほか、4月に東京の池袋で「高齢ドライバー」運転の乗用車が暴走して、横断中の母子が死亡した交通事故が発生した後、高齢者の「自主返納」が急増して過去最多になったほか、5月に滋賀県大津市で発生した保育園児ら多数死傷した交通安全対策が大きく叫ばれました。この事故を契機に、渋川警察署管内でも通学路や幼稚園・保育園周辺道路の

緊急点検が実施され、榛東村の皆様にも大変お世話になりました。

警察では、刻々と変化する交通環境に対応し、日々発生する交通事故の発生実態を踏まえた上で、関係機関と連携しながら各種交通安全対策を推進しておりますが、警察の力だけではおのずと限界があります。

私自身、県内各地の警察署で勤務してきましたが、榛東村の交通安全会や交通指導員の方々は交通安全に対する意識が非常に高いだけでなく、地域に密着した積極的な活動をされていると強く感じています。

皆様は、警察にとつて信頼できる大切なパートナーであり、日々における献身的かつ地道な活動が、交通事故の減少に大きく貢献しているのは紛れもない事実です。

刻々と変化する環境で発生する交通事故や、道路交通に関係した諸問題を防ぐため、今後とも協力をより一層お願いいたします。

共により子ども達の安全教育にご理解とご協力を頂きまして感謝申し上げます。

本園では、安全教育としてリズム遊びを通して敏捷性、判断力など危険から身を守る為の基礎的な力を養っております。また、小動物や四季の草花や野菜を育て命の大切さを培っております。

交通事故から命を守る為に、榛東村交通安全会の方々と榛東駐在所長さんによる春秋の交通安全教室を実施しております。子ども達は、関係機関の方々の親しみやすい「お話パネル」や「着ぐるみ劇」から園外での横断指導を学び、園外保育などの直接体験を通して安全な生活の仕方を学んでいます。

保護者の方には、送迎時や外出先の駐車場では、子どもと手をつないで安全確保をお願いしております。

今後も、子ども達の尊い命を守る為に、園とご家庭と連携して進めて参りますので、より一層のご指導をお願い申し上げます。



榛東北部保育園
園長
小川みや子氏

安全教育について

新年あけましておめでとうございます。

関係機関の皆様や地域の皆様「榛東は安全運転思いやりの村」「榛東の笑顔を守る安全運転」などの標語と



榛東村交通指導員
隊長
青山孝宏氏

意識をしよう交通安全

新年おめでとうございます。日頃より、交通指導員の活動にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。



榛東駐在所
所長
瀧谷敏之氏

交通事故ゼロの村の実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。皆様には、平素から警察行政に対し、

でございます。

また、新たな年を迎えましたが、ニュース等による交通事故の報道が相変わらず多いように思います。

操作ミスでの急加速、前方不注意、スマホ等使用などの「ながら運転」での追突事故が後を絶たないように思います。

先月から取り締まり規則も強化され罰則もきびしいものとなりましたが、運転者一人ひとりが、常に事故への意識、交通安全の気持ちを忘れず取り組んでいかなければ、交通事故は減らないのではないかと思います。

事故をおこし、お互いが不幸な思いをしないためにも、常日頃から事故への意識と、交通安全への思いを持つていければと思っております。

そして、私たち交通指導員は、各関係機関と協力し合い、歩行者の安全、運転者への啓発、各行事での交通安全など、あらゆる安全への思いを意識をしつつ、これからも努力、活動をしてまいります。

して、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、交通事故のない榛東村の実現に向け「交通事故ゼロ」という目標のもと、峰県交通安全会会長さん、小林女性部長さんを中心に、交通安全会や交通指導員、区長さんなど多くの方々の協力をいただきながら、幼稚園保育園における交通安全劇、小・中学校における交通安全教室、さらに、ショッピング作戦等の街頭活動を通じて、皆様と共に交通安全に対する意識を盛り上げる活動を行ってまいります。

榛東村では、平成26年以降、交通事故は発生していません。昨年（平成31年、令和元年）の交通事故発生状況は、人身交通事故が昨年同日比（12月26日）で+10件、怪我をされた方も+17人と増加し、物件交通事故も+2件と増加しました。

主な交通事故の発生原因は、安全不確認が32パーセントにあたり、周囲の交通状況に注意を払うことで事故を防ぐことができたと思われます。また、年齢別では、65歳以上の高齢者の方による交通事故が24パーセントと全体の4分の1を占め、時間帯別では、朝夕の通勤時間帯に加え、昼間帯の発生も増加しています。

交通事故を防止するためには、歩行者、自転車利用者及び自動車等の運転者それぞれに、交通ルールを遵守していただき、特に自動車等を運転される場合には、車間距離を十分に保ち、交差点での安全確認を、しっかりとお願いいたします。

本年も地域の皆様と共に「交通事故ゼロの村」の実現に向け、地道に活動を積み上げてまいりますので、引き続きのご協力をお願い致します。

一斉街頭指導

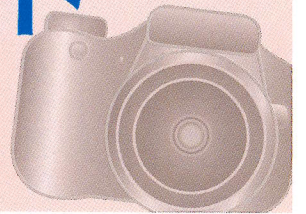
夏の県民交通安全運動期間及び秋の全国交通安全期間中、渋川警察署、榛東駐在所、榛東村交通指導員の皆さんと合同で山子田交差点において一斉街頭指導を行いました。



SHINTOMURA anzenkai

安全会活動 レポート

photo
REPORT



ショッピング作戦

フレッセイ榛東新井店において交通事故防止の啓発活動を実施しました。



敬老会

敬老会において交通安全の啓発活動を実施しました。



朝の街頭指導

各季の交通安全運動期間中、山子田交差点・八之海道交差点にて街頭指導を実施しました。



夜間パトロール

毎週火曜日及び各季の交通安全運動期間中、交通指導車によるパトロールを実施しました。



幼稚園・保育園・子ども園では

指人形劇・着ぐるみ劇による交通安全教室、新入学児交通安全教室を実施しました。

交通安全教室



小学校では

自転車、横断歩道歩行訓練を実施しました。



中学校では

講話による交通安全教室、自転車マナーアップを実施しました。



高齢者の交通安全について

このコーナーでは、高齢者の交通安全について、高齢者の方の意見や体験談を紹介します。



高野 富美子さん
(3区)

どう思う免許返納

運転免許取得から半世紀余り車にお世話になってきた。若き頃はこのような車社会になるとは思っていなかった。子育ての主婦が教習所通いは容易の事ではなく、日々奮闘、時には子連で、時には近所の方に子供をお願いし、教課を終了でき運転席に着く事が出来ました。車の便利さに生活も変化した。行動範囲も広くなり楽しくもあり責任を感じながら真剣にハンドルを握って今日迄安全に過ごす事ができました。近年高齢者の交通のあり方が話題となり免許返納について考える事も多く、集えば必ず話題の一つになる。高齢者免許返納が今年の流行語大賞の一つに選ばれた事も社会を反映していると思う。私も事故のない今か、もう少し生活に活用するか、その時々思いが錯綜している。いず

れにせよ遠からずその時期が来る。感謝を込めて潔く返納する日迄安全運転に集中して、社会にお世話になりたいと思います。



齋藤 邦夫さん
(8区)

安全な運転をするために

一日の中で一番、夕方が事故が多いと聞いた事があります。会社帰りの人や学生の部活帰りなど人や車、自転車、道路に多くなる時間帯です。又、暗くなり見えにくくなる中、運転をしていると急いで家路に着こうと何だか焦って早くという気持ちになってしまします。慌てると判断力も低くなるので落ちついた気持ちで時間に余裕をもつて運転する事がとても大切だと感じます。夕方の運転では早めにライトを点灯する事や見えにくければ視力に合う眼鏡をかけるなど、すぐに出来る事はあります。又、頭の中の安全運転を声に出して言

う声出し確認も良いのではないのでしょうか。私はドライブが好きなので一日でも長く安全な運転が出来るように自分で意識していきたいです。交通安全会の皆様の堅実な活動に心より感謝しております。



田嶋 常一さん
(16区)

一日の安全交通マナー

一日の交通安全は心のゆとりを持つことです。毎日周りの様子をよく見る事です。友人や子供達に事故のこわさを話し元気づけてやり、自分も高齢者の一人として安全運転を心がけていきます。心と命は、自分から事故のない村づくりの高齢者一人として交通ルールを守り安全運転に心がけ、ハンドルを持つたら考えごとはしないで前を見て運転すること。

毎月25日は高齢者交通安全日です

優良自動車運転者表彰を行いました

優良自動車運転者表彰は、自動車運転に関して、常に交通法令を遵守し、運転技能に優れ、かつ社会的責任を自覚した思いやりのある運転者を賞揚することで、模範運転を励行していただくとともに、他の運転者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に寄与することを目的として実施しています。令和元年において、春の交通安全総決起大会と秋の交通安全総ぐるみ大会で次の方々が優良自動車運転者表彰を受賞されました。長年にわたる安全運転の励行受賞に対し心から感謝とお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全運転をお願いします。

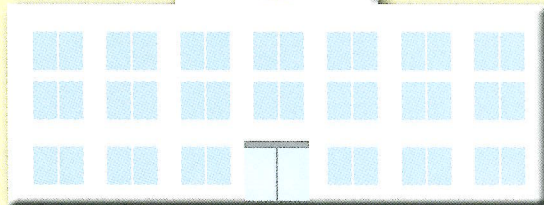
旭日金冠章 (40年以上 無事故・無違反)	岩崎 桂子(10区)	
金冠金賞 (30年以上 無事故・無違反)	星野 米男(16区) 星野 孝代(16区)	岩丸 芳美(16区)
金冠銀賞 (20年以上 無事故・無違反)	桑原 榮子(1区)	
金賞 (15年以上 無事故・無違反)	小山 久利(9区)	
銀賞 (10年以上 無事故・無違反)	太田 秀樹(17区) 清村 昌一(7区)	太田 栄子(17区)
銅賞 (5年以上無事故・無違反)	村上 誠(7区)	青山 紀子(19区)

平成12年6月から本村の小学校に組織されている交通少年団。本コーナーでは2校それぞれの代表者から、活動を通じて感じたことや意見などを紹介するとともに、北小・大塚校長からの寄稿を紹介します。

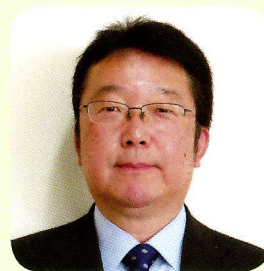
学校



では



子どもたちの安全のために



榛東村立北小学校
校長
大塚一彦氏

小学生の交通事故は、ほとんど歩行中に起きており、その原因の第1位は「飛び出し」で、全体の30%を超えるそうです。子どもは、「目的地に早く着きたい」とか思うと、どうしてもそのことで頭がいっぱいになり、周囲の安全に注意を払う心の余裕がなくなりがちです。

また、これは私も驚いたのですが、小学生の交通事故の50%が、本人には何の落ち度もないにもかかわらず事故に巻き込まれたものだそうです。実は本校でも、登校途中、青信号を渡っていたにもかかわらず、児童が車にはねられるという痛ましい事故がありました。幸い現在は元気に登校しているものの、まかり間違えば大変なことになっていた事故でした。

学校では、「飛び出しをしないこと」「青信号になっても左右をよく確認してから渡ることを繰り返して子どもたちに話しています。

子どもたちは、村の大切な宝です。私を含めた大人たちが、交通ルールを守り、安全運転を行うことで、大切な子どもたちを守っていければと思っています。

交通少年団長になって



榛東村立北小学校
交通少年団長
布施輝宙さん

僕は、交通少年団長になって、交通安全や交通ルールについて考えることが増えました。毎日通っている道でも、朝と夕方、また車が多い道と少ない道では、見え方は様々です。通学路や車で通る道には、たくさんの危険があると感じました。

僕は、以前、車に乗っていた時、横からの車に道をゆづった際、その車が対向車とぶつかってしまったことがあります。目の前で事故が起きて、怖い思いをした経験があります。事故は悲しいです。

榛東村では、学校で横断歩道の渡り方や自転車のルールなどを教えてくれる交通安全教室があります。左右の確認、ヘルメットをかぶるなど、当たり前のルールをしっかり守ることが大切だと教えてもらいました。交通ルールを守ること、自分の命、他の人の命を守っていききたいと思っています。



交通少年団長になって



榛東村立南小学校
交通少年団長
上村祐輝さん

ぼくは、少年団長になって、まず何をすれば良いのかを考えました。そして、通学路の歩き方や横断歩道の渡り方など、交通ルールを、より一層気をつけるようにしました。それに、登校班で通学する時にも、班の子が危ないことをしていたらしっかりと注意するようにしました。それによって、いつも左右確認をして道路を渡れたので、毎日安全に通学することができました。

榛東村では、よく交通事故防止のポスターや標語を見かけます。ぼくは、ポスターや標語を見るたびに、交通安全団長として、事故にあわないようにしっかりとルールを守らなければ、と思います。

交通安全団長になったことで、以前よりも安全に気をつけるようになりました。南小の児童が、交通事故にあわないように、交通ルールを守るように、みんなに呼びかけていきたいと思っています。





3区理事
善養寺珠代



3区理事 (監事)
岡野 哲也



2区理事
入村 香代



2区理事
小林 一裕



1区理事
竹内 眞澄



1区理事 (副会長)
石川 一郎



6区理事
森田 清美



6区理事
樋口 朝治



5区理事 (会計)
狩野 栄子



5区理事
三俣 成美



4区理事
板倉いと子



4区理事 (書記)
齋藤 圭司



8区理事
片貝千代子



8区理事 (副会長)
浅見 弘之



7区理事 (女性部副部長)
高橋 静江



7区理事
高橋 俊一



10区理事
田畑久美子



10区理事
岩崎 茂雄



9区理事 (女性部副部長)
岩崎美佐恵



9区理事
吉田 正美



12区理事 (監事)
高橋 信子



12区理事
薊 清孝



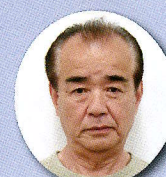
11区理事
阿久澤直子



11区理事
真下 慎一



15区理事 (書記)
板橋 一江



15区理事
柿島 武治



14区理事 (女性部副部長)
小山 洋子



14区理事
鳥山 正照



13区理事
一倉 寛子



13区理事
一倉 浩康



18区理事
伊与久佳子



18区理事
高橋 善之



17区理事
清水 まり子



17区理事
大竹 十右



16区理事
小川 邦子



16区理事 (副会長)
村上 誠



相談役
岡本恵美子



21区理事
小池 秀子



21区理事 (会計)
川田 善之



20区理事
黒川眞由美



19区理事
柳田美紀子



19区理事
大山 清巳

地域交通安全活動を
推進している各区の
理事を紹介します